

前期 学校評価 結果報告

自由参観後に実施しました「学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。今回は、同様な項目について、「教職員」(9月下旬実施)「保護者」(10月中旬実施)「児童」(10月上旬実施)を比較してお知らせするようにしました。

「教職員」「保護者」「児童」の共通項目

1. 学習予定表をもとに宿題など、進んで学習をしている。(教員; 予定表の充実)
2. 人や自分、物を大切にしている。(教職員; 差別・偏見に対する意識向上)
3. 学校は楽しい。(教員; 子どもが主体的に活動する授業)
4. いじめ・仲間外れのない学級(教職員; 連携を取り、早い対応ができる)
5. 学校と家庭の連携
6. 安全を守る力(教職員; 学校安全に気を張っている)

1. 学習予定表をもとに宿題など、進んで学習をしている。(教員: 予定表の充実)

担任は、児童が学習予定表から、自分のめあてが立てられるように工夫を加えている。7割の保護者・児童は進んで学習しているが、3割の児童はあてはまらない実態がある。授業中にわかったと思っていても、繰り返して学習しなければ、定着が図れないことがある。宿題は当然のことだが、学習予定表をもとに復習の習慣をつけるなど、自分の課題を知って、学習を進めることが求められる。

2. 人や自分、物を大切にしている。

3者とも9割が大切にできていると、応えている。多くの児童には自尊感情が備わっていると考えられる。しかし、10パーセントの児童はそうでもないとしている。特に、1年生と6年生を除いた15名が大切にしていないとしているのは、気になるところで、見守っていく必要を感じる。

3. 学校は楽しい。

教職員の立場からは、児童が楽しいと感じるのは、授業がよくわかったときが第一義であると考え。児童の立場からは、友達などの学級集団の和が大切と考えてる。この差はあるが、児童の居場所が学校にあることが大切である。児童の約7パーセントが「楽しくない」と回答しているが、その要因がどこにあるのかを見極め、何らかの措置をとらなければならない。

4. いじめ・仲間外れのない学級づくりができている。

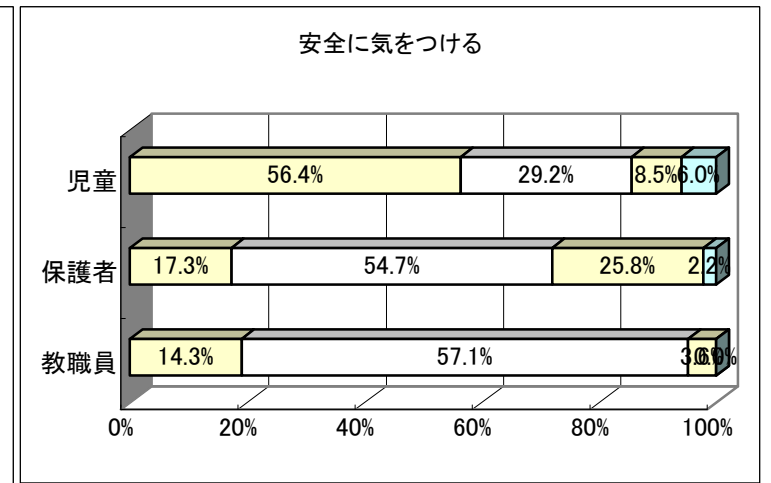
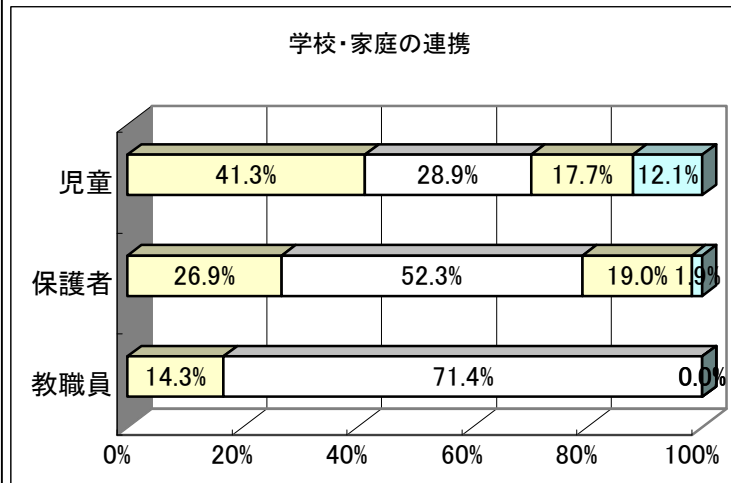
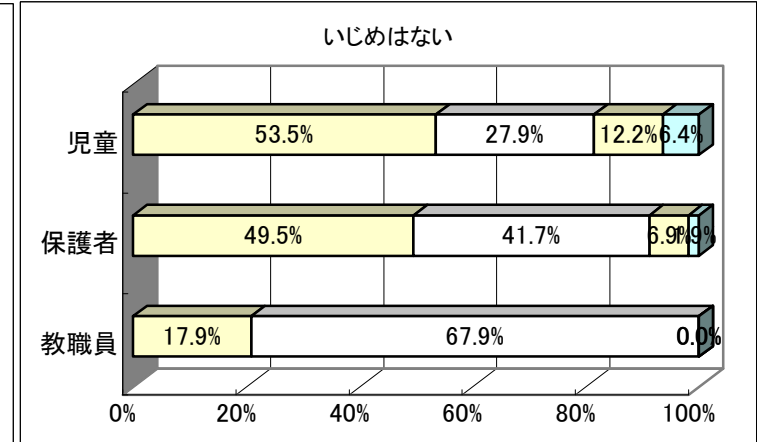
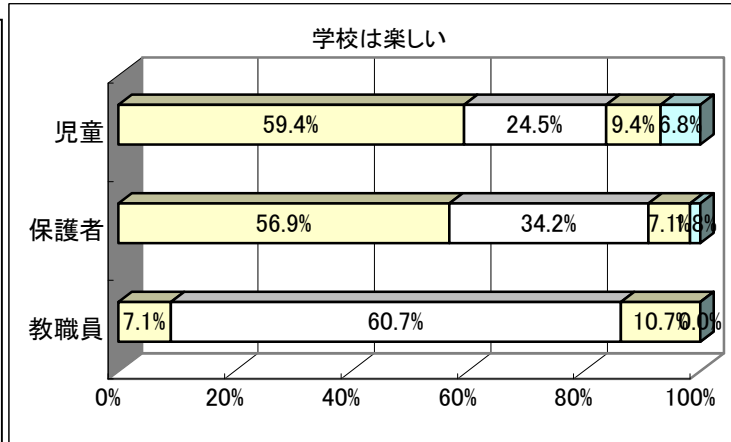
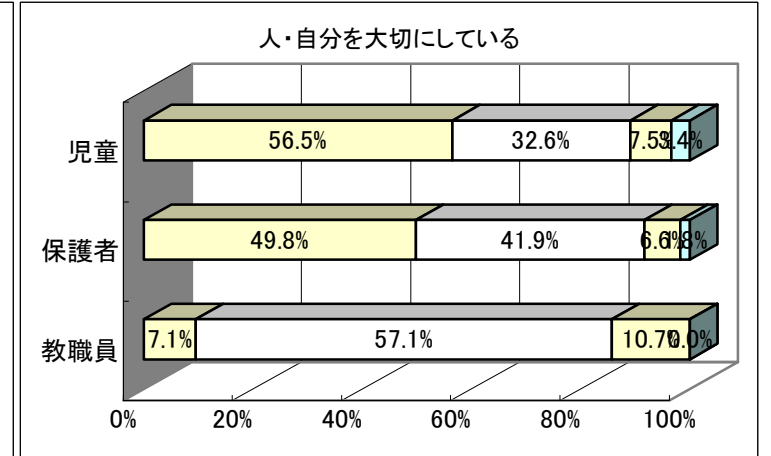
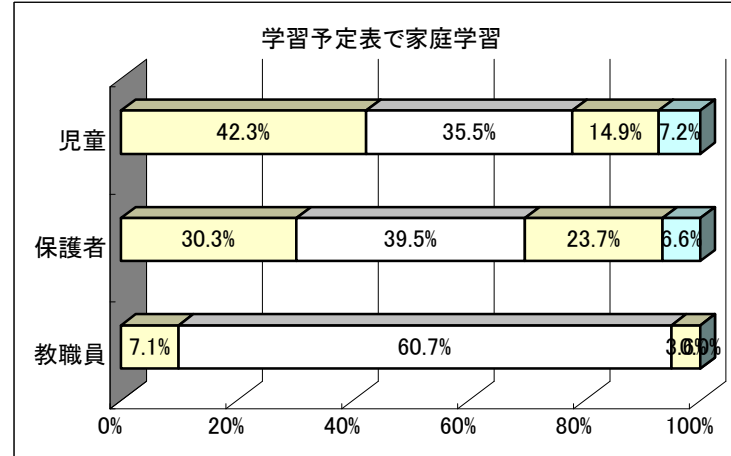
「いじめ」の定義をどう捉えるか、という問題もあるが、「2」、「3」とも関連させて考えていきたい。「いじめ」は、どの空間でも起こりうると思え、常にアンテナを張って情報を得、より早い対応ができる教職員集団であり続けたい。

5. 学校と家庭の連携がとれている。

学校は、様子など情報を提供するなど、関係づくりに努めている。児童の3割が学校での様子をあまり家の人に伝えていないこともあるのか、保護者の2パーセント弱が連携の不備を感じている。

6. 安全を守る力がついている。

児童(中学年)の6パーセントが、自己の安全に無頓着な様子が浮かび上がっている。日々の指導を大切に、意識を高めていきたい。加えて、地域全体で見守っていききたい。



各グラフの左より、
 「A: よくあてはまる」
 「B: 概ねあてはまる」
 「C: あまりあてはまらない」
 「D: 全くあてはまらない」

回答数
 保護者 229名, 児童 470名, 教職員 28名